

## 研究説明書

### 「介護支援専門員の高齢者虐待対応下の精神的ストレスと通報判断の関連」

#### 1. 研究目的・研究意義

本研究の目的は、高齢者虐待対応下の精神的ストレスと虐待の通報判断との関連、高齢者虐待対応下の精神的ストレスを軽減させる支援の検討のために、精神的ストレスと虐待（疑いも含め）事例対応の際に抱く困難感の要因の関連について明らかにすることです。これを明らかにすることにより、高齢者虐待対応下の介護支援専門員の精神的ストレスを軽減させ、それにより介護支援専門員の虐待対応への意欲を上させ、高齢者虐待の早期発見・早期対応の一助となると考えています。

#### 2. 研究方法

協力の得られた団体を介して全国の居宅介護支援事業所に所属し、養護者による高齢者虐待（疑いを含む）の対応をしたことのある介護支援専門員の方に、高齢者虐待の対応時に感じている困難感や精神的負担等についてアンケート調査を実施します。アンケートは、Google form によって個別に回答を送信してもらうことによって回収します。

#### 3. 倫理的配慮

本研究は、岡山県立大学倫理委員会の承認を得て実施しています（23-87）。研究への協力は対象者の自由意思に基づくものであり、研究への協力を辞退した場合でも何ら不利益を被ることはありません。アンケート調査依頼書及び研究趣旨を読み、ご理解いただいた後のオンラインでの回答をもって研究参加へ同意されたと判断いたしません。オンラインでの回答で個人が特定されることはありません。回答送信後は、個人が特定できませんので、同意の撤回ができませんことをご了承ください。

研究責任者 岡山県立大学保健福祉学部看護学科 教授 森永裕美子  
研究実施者 岡山県立大学大学院保健福祉学研究科看護学専攻 大学院生 藤井 李香